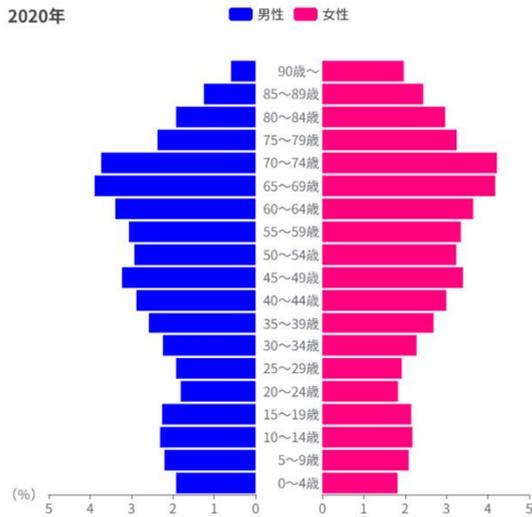


将来人口（20年後の姿）

RESAS

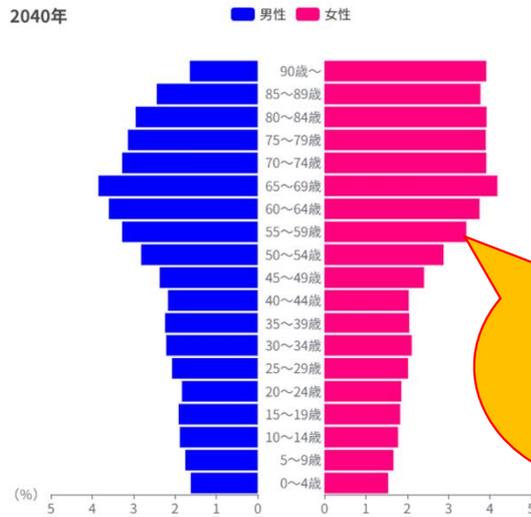
人口ピラミッド
長崎県

2020年



老年人口（65歳以上）：430,353人（32.79%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：706,077人（53.8%）
年少人口（0歳～14歳）：164,303人（12.52%）

2040年



老年人口（65歳以上）：413,821人（40.88%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：494,834人（48.88%）
年少人口（0歳～14歳）：103,717人（10.24%）

今後、人口減少や高齢化が予想されています

【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

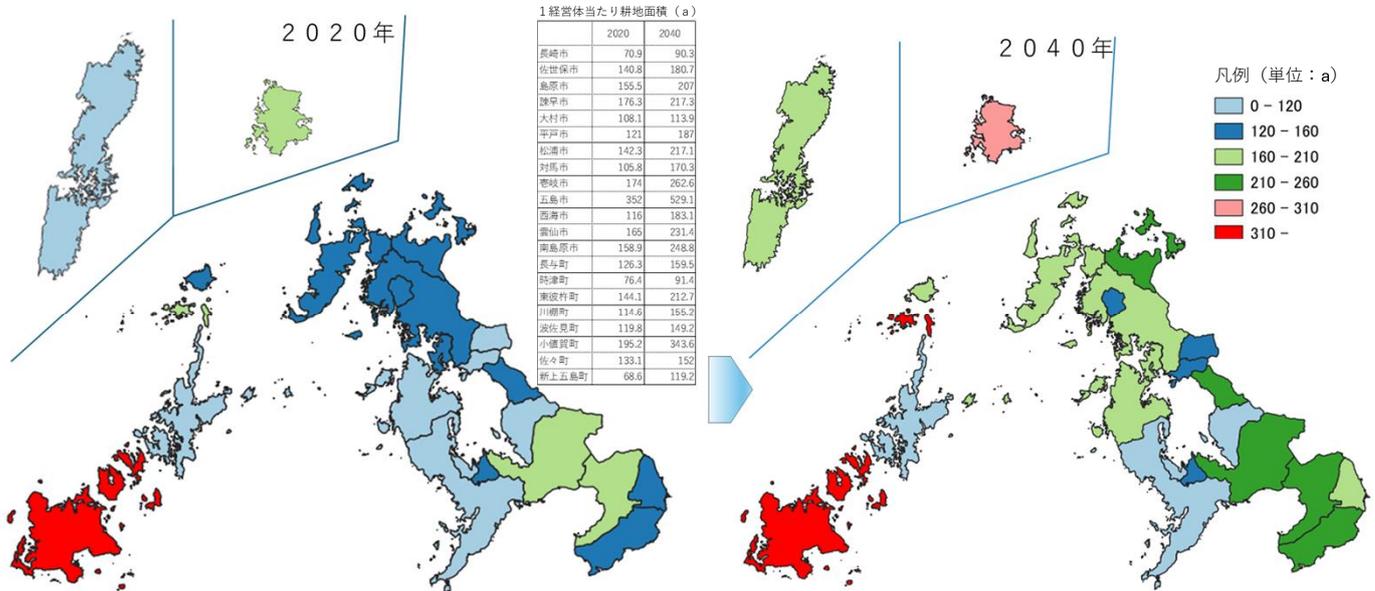
【注記】

2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県「浜通り地域」に属する13市町村（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村）をまとめて推計しているため表示されない。
総数には年齢不詳を含む。

20年後の1経営体当たり耕地面積



資料：国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」
農林水産省「2020農業センサス」

注：国立社会保障・人口問題研究所が公表する「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」をもとに、2020年農林業センサスの基幹的農業従事者を推計し経営耕地面積を除いたもの

2020年の経営耕地面積を20年後(2040年)に予想される経営体数で割ると1経営体当たり経営耕地面積の平均が経営体数の減少により約1.5haから約2.0haに増加するものと思われます。
今後、農地の大区画化やスマート技術の活用などによる生産性の向上が重要となってきます。